

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小45) 長崎市立(三原小)学校

1 教育目標

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」 ～安全・安心を大切にする三原っ子～		
---	--	--

2 学校経営方針

(1) 豊かな心力(笑顔)の育成 (2) 確かな学力(真剣)の育成 (3) たくましい体力(感動)の育成		
--	--	--

3 重点目標

(1) 豊かな心力(笑顔)の育成 ・道徳教育の充実と推進 ・特別支援教育の充実 ・基本的な生活習慣の形成と自発的な実践態度 ・思いやりのある心豊かな子どもの育成 ・新しい平和教育の理解と実践 ・いじめ対策基本方針に基づいた確実な対応・実施 ・係・委員会活動、及び「なかよしタイム」の活性化 ・児童会活動における自治力の高揚 ・「あ・は・は・は運動」の習慣化 (2) 確かな学力(真剣)の育成 ・授業改善による学力向上 ・「あじさいスタンダード」の具現化、充実を推進 ・「言語活動」の重視 ・授業研究による指導力の向上 ・基礎的・基本的な学習内容の定着(基礎学力の定着) ・図書館教育の充実 ・外国語活動の指導の充実 ・校内研修の活性化 (3) たくましい体力(感動)の育成 ・運動に親しむ態度の育成 ・健康的習慣の確立 ・安全教育の推進 ・給食習慣の確立と感謝の気持ちの醸成 ・アレルギー児童への確実な対応 ・定期的な縦割り遊びの実施 ・外遊びの奨励 ・「あじさいスタンダード体力づくり編」の具現化、充実を推進		
--	--	--

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児 童 生 徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	91%	85%	100%	学校は楽しいですかの質問に対して、1割の児童が否定的な評価をしている。否定的評価の児童はほぼ固定しており、長期的な視野で支援を行っていく必要がある。職員間での共有はもちろん、今後もSC、SSWとの連絡を密にしていける。明るく楽しい雰囲気項目では、児童の9割の肯定的評価に対し、保護者は78%にとどまっている。学校での様子をしっかりと伝えていくことと同時に「笑顔あふれる学校」の実現にむけ具体的な方策が必要である。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	90%	78%	100%	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100%	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			82%	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	87%	86%	100%	生徒指導部の取組により、学校のきまりを守ろうという意識が向上した。特に「はさみ歩き」については、児童会との連携による企画で、自分たちの生活を自分たちでよくしようとする自治的風土が醸成された。悩みや相談、いじめ防止、教育的ニーズに応じた教育に対しての肯定的評価はいずれも8割を下回っており、よりよい支援のための保護者との連携に課題が見て取れる。担任だけではなく学校全体、連携機関と協力しながら保護者との連携を密にしていける必要がある。今年度から新たに取り組んだ個人面談等の機会を十分に生かし改善につなげていきたい。
		挨拶をよくしている	89%	78%	100%	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	87%	91%	91%	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94%	75%	100%	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	87%	76%	100%	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96%	94%	100%	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	99%	96%	100%	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	98%	73%	73%	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ く り	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	92%	88%	70%	例年、課題としてあげられてきた「住んでいる地域が好きか」については、昨年の改善をそのまま引き継ぐことができている。育成協はじめ地域の方々のご協力あつてのことと感じる。卒業生講師によるダンス教室、地域センターでの発表等は地域の活性化にもつながっており子どもと地域のつながりが実感できる。新しい取組である「みはらまつり」も地域の方々とのふれあいの貴重な場である。キャリア教育に関する保護者の肯定的評価は67%にとどまっており、外部講師を招いての取組がどのようにキャリアの育成につながっているのかという部分での啓発が不足していた。教職員間においても、系統立てたキャリアの育成を意識した取組ができるよう見直しをもった計画を立てていく。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすい授業を行っている	92%	73%	90%	
		家庭学習の習慣が身に付いている	89%	74%	90%	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	81%	67%	100%	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	96%	84%	100%	

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95%	84%	100%	「健康」「食育」とともに3者とも高い評価であるが、体力向上に関する保護者の肯定的評価は76%と8割に満たない。体育部が継続的な体力向上の取組として「マラソンチャレンジ」を実施したが、児童の取組の温度差や目標を達成したあとのフォローが弱かったため継続に課題が残った。体力向上の鍵は継続であることを再度共通理解し、保護者への啓発とともに次年度にむけ改善していく。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	85%	87%	91%	
		体力向上に努めている	86%	76%	100%	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	95%	86%	100%	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	100%	80%	100%	昨年度、教師の情報提供に関する肯定的評価は63%とかなり低い数値を示していたが今年度は90%と大幅に改善をした。ICTを活用した取り組みにより作成や共有のしやすさが改善に役立ったのではないかとと思う。ホームページについても随時更新されており、保護者の高評価につながっているのではないと思われる。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	98%	96%	90%	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている	79%	88%	70%	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			82%	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	95%	82%	100%	計画的な環境整備が進められている。ターザンロープの交換や中央階段フロアーの張替えなど定期的な安全点検や日々の安全管理が生かされた改修となった。かねてより課題であった低学年教室の更衣問題もカーテンレールの設置が実現し改善された。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			73%	